

報告事項

平成 29 年度事業計画

地盤工学会は公益社団法人として定款に定めた「地盤工学の進歩及び地盤工学に関わる技術者の資質向上を図り、学術・科学技術および文化の振興と社会の発展に寄与することを目的とする」に合致した公益事業を展開してゆく。

地盤工学会員は自らの専門性を高め社会に貢献するという意識のもと、本部・支部間の連携を密にし学会活動を行っていく。ダイバーシティを推進し、より多くの人が学会活動に参加できるよう体制の強化を図る。災害調査にも積極的に専門家を派遣し、様々なかたちで情報発信するなど、市民に必要とされる学会を目指した活動を継続する。学会誌、地盤工学ジャーナル、Soils and Foundations の出版、年 1 回の研究発表会の開催など恒常的に実施してきた各種活動の更なる魅力化についても横断的に議論し、複合的な効果を得られるよう内容の充実化を図る。

2011 年東日本大震災を教訓に、宅地における地盤災害の防止や軽減を推進するための資格制度「地盤品質判定士」が平成 25 年に発足した。この資格制度を社会へより一層浸透させるために、積極的な支援を行う。文部科学省からの委託事業として平成 27 年度よりスタートさせた「福島第一原発の収束に向けての技術研究と人材育成を行うプロジェクト」を継続し、学会の新たな社会貢献を目指す。

今年度は次の 10 年を見据え、2009 年にまとめた中長期ビジョンを総括し、学会をとりまく状況変化を取り入れて、次の中長期ビジョンの策定を始める。その下支えとなる事務局強化については、職員の人事評価制度や研修を継続的に行っていく。

学会の財務体質については健全化を目指して収支改善に取り組んできた結果、平成 25 年度以降は赤字収支からの脱却を達成している。公益法人としての財政基盤を長期的に安定させるために、大型事業に依存した収支計画を見直していくとともに、収益増加の推進と費用の削減、ならびに個々の事業や組織の予算管理の強化を推し進める。

今年度において実施が計画される事業について、公益目的事業の事業区分毎に以下に示す。

1. 公益出版事業〔公1〕

公益出版部：「地盤工学会誌」では学会員へのサービス向上と経費削減を目指し、平成 29 年 4 月より正会員の希望者に対して電子版を配信する。「地盤工学ジャーナル」では審査の迅速化と掲載論文数の増加を促進する。「Soils and Foundations」では、特集号の発刊・災害調査報告・先進的な国内技術報文の掲載などにより、国際ジャーナルとしての地位向上に努める。出版企画では、既刊本・新刊本の販売促進に努め、事業収支の改善を目指す。

北海道支部：「実務家のための火山灰質土」、「寒冷地地盤工学」などの支部出版物の販売促進を図る。

東北支部：支部が主催した「地盤工学フォーラム」等の書籍について、その販売促進に努める。

北陸支部：全国電子地盤図の北陸の新規の都市への展開、既存の公開している都市の改訂のために対象地域のボーリングデータの蓄積を引き続き行う。「液状化しやすさマップ新潟県版、富山県版、石川県版」と流水客土技術関連資料集 DVD の拡販を引き続き行う。

関東支部：「新・関東の地盤（平成 26 年度発刊）」の販売促進に努める。また、「法律家・消費者のための住宅地盤 Q & A」を刊行する。

中部支部：最新名古屋地盤図(追補版)の販売に努める。

関西支部：「土はおしゃべり」などの支部発行物の販売促進を図る。

中国支部：論文報告集「地盤と建設」では、投稿区分「事業紹介」を新設することにより、更に充実した内容となるように努める。

九州支部：過去に九州支部が主催・作成したシンポジウムや研究委員会等の書籍について、その販売促進に努める。

2. 調査・研究事業〔公2〕

総務部：災害調査等を通して、原因の究明・復旧方法の提案・今後の防災方法のあり方についての提言を継続して行う。5 年間継続してきた道路保全地盤技術向上の調査・研究助成事業の総括を行う。

調査・研究部：研究発表会（名古屋大会）では、収支状況を考慮しつつ、会員間で活発な討議・情報交換を行えるようにプログラムを編成する。研究・連携・情報委員会においては、委員会年間予算の競争化を図りながら、新規テーマの研究委員会を設置して研究活動を発展させる。また、環境地盤工学シンポジウムを開催し、会員への情報還元、地盤工学の発展に寄与できる内容の充実とシンポジウムの運営方法について検討する。さらに、電子図書室の充実と利便性を向上させ、学会の情報インフラの整備を継続する。

基準部：地盤工学に関する規格・基準、および表記法等の制定、管理と、これらに関する図書の編集、出版に継続して取り組むとともに環境分野などの化学試験の基準化を推進する。「動的コーン貫入試験方法」及び「地盤工学用語」については、JIS 規格化への活動を継続する。また、対応可能な JGS 基準については、JIS 規格化申出の手続きに入る。海外、特に東南アジア諸国への JIS および JGS 基準を広めるため、現在実施している学会の調査・試験基準の英訳化は、現在の JGS 基準全ての英訳化版を出版するとともに東南アジアを中心とした海外への普及を進める。

北海道支部：例年実施している技術報告会を札幌市で実施し、投稿論文を「地盤工学会北海道支部技術報告集第 58 号(DVD)」として刊行する。また、主として若手技術者を対象としたセミナーを道内数カ所

において複数回開催する。「気候変動に伴う積雪寒冷地の地盤災害に関するシンポジウム」を6月に開催し、報告集を発刊する。委員会活動では、「北海道の地盤災害と防災技術に関する研究委員会」を新たに設置し、「会員拡大検討委員会」を継続する。また、支部ホームページやSNSを利用した広報活動を積極的にを行い、支部活動の活性化を図る。

東北支部：例年実施している講演会、セミナー、地盤工学フォーラム、地盤工学講座、現場見学会を実施する。秋田地域会では講演会を実施し、産官学間や異業種間の様々な交流を促進する。また、災害調査協定など県の機関との協力関係を強固にする。

北陸支部：例年実施している講習会、講演会、セミナー、シンポジウム、研究発表会、現場見学会を実施する。ロングタイムでふかぼりの講演を引き続き開催する。富山県との災害協定に基づき富山県内の県市町村の職員に対し地盤災害に関する研修会を定期的に行う。

関東支部：第14回関東支部発表会（Geo-Kanto2017）を東京から栃木に開催場所を変更して開催するほか、各種講演会を企画、実施する。また研究委員会活動については、平成29年2月現在で新設委員会を公募する予定であり、申請課題を検討のうえ、1～2研究委員会を今期中に新規開設する。次世代を担う若手を対象としたソイルストラクチャーコンテストの開催や歩きながら見て・知って・学ぶ「ジオ散歩」を開催し世代間の交流を促進している。また、特別会員、中学・高校等を対象とした出前講座を実施し、会員等が抱える課題や関心などのニーズに即したサービスの提供を行う。会員ならびに一般市民を対象として、公共事業の重要性、国民の生命と財産に対する安心・安全への貢献、地盤工学の重要性、面白さを理解してもらえる講演会、現場見学会、技術交流会等を開催する。また、災害調査協定など国の機関との協力関係を強固にし、貴重な業績を世に問うべく関東支部発表会などへ投稿しやすい環境づくりを推進する。

中部支部：南海トラフ巨大地震・津波に対する中部地域の防災・減災に資することを目的として、南海トラフ巨大地震中部地域地盤災害研究委員会を平成26年度より設置している。支部各地域にて市民向けの啓発行事を開催するなど活動してきたが、本年度はこれまでの成果を取り纏めて報告会を開催するとともに、引き続き発展的な活動に展開する。シニア活性化委員会によってシニア会員向けの懇話会・見学会等を企画するなど、シニア世代による学会活動への継続的参画を図り、次世代への技術伝承に繋がる活動を推進する。これに関係して、平成28年度から導入した支部行事参加費のシニア割引制度を継続する。第26回調査・設計・施工技術報告会、第29回中部地盤工学シンポジウムを開催して、技術者や研究者の地盤工学に関する情報交換の機会を設ける。見学会や信州地盤環境委員会等の活動により地盤に関する研究、学会員へのサービス、市民への啓発活動等を実施する。若手技術者の交流会や支部の地盤工学系研究室の学生の交流会を企画して、産官学や異業種の間での様々な交流を促進する。また、支部

創立 60 周年にあたり講演会、見学会および記念誌発刊など各種の記念事業を実施する。

関西支部：講演会、報告会、若手セミナー、見学会、シンポジウム、交流会等の各種支部行事を開催し、会員のニーズに沿った事業を展開する。また、和歌山・滋賀・福井の3地域の地域地盤研究会、斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価研究委員会、ならびに関西の地盤情報に基づく防災ハザードマップ開発研究委員会を通じて活発な調査研究活動を実施する。さらに、小・中・高校生を対象とした「出前講義」や工業高校・高専生を対象とした「見学会」、市民を対象とした「市民特別講演会」や「ふるさと地盤診断ウォーク」を開催し、広く一般市民の公益に資する活動を行う。

中国支部：各地域の研究成果を発表する「地盤工学セミナー報告会」、土木学会中国支部と共同開催している「工事報告会」を開催する。また、会員の要望に沿った講演会等を開催する。

四国支部：技術研究発表会、講演会ならびにシンポジウムなどを開催することにより、支部活動の活性化と学会活動の認知度向上に努める。また、「地震地盤防災研究委員会」において、講演会、講習会を通じて地盤地震防災技術の普及を図る。四国4県の若手技術者に学会運営への参画を促し、事業の活性化を図る。

九州支部：九州地盤情報システム協議会において、「九州地盤情報データベース（第3版）」の平成29年度発刊を目指し、作成を進める。また、「九州地盤情報データベース（第2版）」の販売促進を図る。

3. 技術推進事業【公3】

総務部：広報関係の活動は、①会員へのタイムリーな情報発信、②地盤工学や地盤技術者の役割、地盤工学会の活動を一般市民とともに非会員の技術者に広く理解してもらうための活動、③国際広報、④学会IT活動のサポートの4つを柱とする。①については、各支部と連携しながら地盤工学に関連した最新情報をホームページやメールニュースでタイムリーに発信する。②については、地盤技術や地盤災害に関する一般向け技術資料やホームページコンテンツの充実化と普及活動、FacebookやYoutubeなどを活用した情報発信を実施する。③および④については、ホームページの充実化を進めるとともに、関連国際学会などへの情報発信を行う。

事業企画戦略室：学会を取り巻く状況の変化を取り入れながら、学会における様々な事業の運営と進捗を管理・サポートするとともに、情報を共有できるように図る。また策定から7年が経過した中長期ビジョンの見直しを検討すると共に、各事業における活動目的・目標を定めて推進する。また部門横断的な事業や企画、会長および理事会からの諮問事項に対する調査・企画を行い、必要に応じて部門間の調整を図る。平成28年度より再開した「メディア懇談会」を継続して実施し、学会活動の社会へのアピールと貢献を行う。

会員・支部部：会員数維持更・増加のため、他学会の取組み調査、理事自身による勧誘活動、学生→正

会員への移行、シニア層の継続勸奨について具体的方策の検討を行う。「技術普及委員会」では、防災技術や震災復興に係る技術に加え、社会全体に有用な最新の情報発信に努める。講習会の内容の充実に加え活動の始動を早め計画の履行を確実にする。本部支部間の連携強化のため、支部から本部への要望のヒアリングのシステム化の検討を行う。「地盤品質判定士」では制度の維持に向け判定士協議会と密接に連携する。

国際部：国際地盤工学会との連携および各種国際交流活動の推進を継続する。第 19 回国際地盤工学会議（2017 年 9 月、韓国ソウル市）への貢献、第 6 回世界若手地盤工学者会議（2017 年 9 月、韓国ソウル市）への若手会員の派遣、国際地盤工学会技術委員会（TC、ATC）やアジア地域副会長の活動のサポート等を行うとともに、学会ならびに会員の国際化・国際力強化に資する活動を行う。

北海道支部：例年どおり講習会や講演会等を開催する。また、他学協会との協賛行事にも積極的に取り組むことで会員へのサービス向上と支部活動の活性化に努める。

東北支部：講習会を開催するとともに、他学協会との協賛行事にも積極的に取り組むことと女性の会員の活動を活性化し、会員へのサービスの充実を図る。

北陸支部：原位置試験法や三軸試験法などを体験できる講習会を引き続き実施する。建設コンサルタント協会などの学会協との連携を深め、共同イベントを開催するなどして活動を活性化させ、新規会員の獲得に努力する。

関東支部：研究委員会活動と県グループ活動等とのタイアップによる講習会の開催、他学会とのシンポジウム共催など各地の官公庁・公的機関や地盤関連の各種法人・団体との連携を図り、成果の普及や学術振興の機会を幅広く設けた活動を行う。

中部支部：技術者や研究者を主対象に各種セミナーを開催する。特に、他学協会と連携開催することによって、地盤工学を取り巻く他分野の技術動向等の学習の機会も導入し、また、技術者・研究者交流を推進する。地盤調査ボーリング作業、物理探査～室内土質試験講習会を継続開催し、会員サービスの充実を図る。その他、学校や企業等からの依頼に基づき出前講義を開催する。

関西支部：会員や一般市民のニーズにあった講習会や講演会、実技セミナー等を実施し、会員サービスの充実を図るとともに、一般市民に対しても広く広報・伝達して地盤工学技術の啓蒙を図る。

中国支部：会員に有益となる内容の講習会を各地域にて企画し、会員サービスの充実を図る。

四国支部：地盤の動的問題に関する講習会や防災に関する学術講演会など、会員のニーズを反映した行事を企画・運営することにより、会員サービスの充実を図る。

九州支部：実務に役立つことを目指した講習会の開催を始め、地区活動や、他学会、協会との協賛行事等を全 8 地区で取り組んでいく。

4. 表彰関連事業〔公4〕

総務部：平成 29 年度は会員を対象とした功労章の選考を行うと共に地盤工学の発展に長年にわたり多大な貢献をされた会員を名誉会員として推薦する。また地盤工学会賞の表彰を引き続き行う。表彰事業の更なる充実化のため、規則の一部変更や作業マニュアルの整備について検討する。

北海道支部：例年どおり支部賞および支部賞学生部門の表彰を行う。支部賞および支部賞学生部門は支部技術報告会で発行される「技術報告集」から正会員及び学生会員の新進者を対象に選定し、地盤工学に関する学術および技術の進歩発展を奨励する。

東北支部：支部表彰を例年どおり行う。支部表彰（技術的業績部門）は、地盤工学フォーラムにおいて応募者によるプレゼンテーションを実施することで業績内容を広く会員に公開する。

北陸支部：支部表彰委員会において幅広く、非会員をも対象とした技術賞、技術開発賞研究・研究、論文賞、功績賞の表彰を行う。

関東支部：関東支部賞（技術賞、功績賞）の表彰を行う。また、支部発表会において優秀発表者の表彰も行う。

中部支部：個人、団体の学会活動や業績に十分配慮し、支部活動の一層の活性化へ繋がるように、中部支部賞（論文賞、技術賞、功績賞）の表彰を行う。

関西支部：例年どおり、「学術賞」、「学術奨励賞」、「地盤技術賞」、「社会貢献賞」の支部表彰を行うとともに、支部としての表彰制度のあり方や表彰項目についての検討も進める。

中国支部：地盤と建設」論文賞、「地盤と建設」論文奨励賞、「地盤工学セミナー」報告賞、技術賞の支部表彰を行う。

四国支部：例年どおり、技術研究発表会において特に優秀な若手技術者を「優秀発表者」として、また、地盤工学の発展と支部活動の活性化に寄与した優れた業績を「四国支部賞」として表彰を行う。

九州支部：九州支部技術賞（団体の部・個人の部）、九州支部貢献賞、優良学生賞の表彰を行う。

1. 公益出版事業【公1】

(1) 学会誌「地盤工学会誌」の発行

担当部	誌名	年発行回数	編集方針
【公益出版部】	「地盤工学会誌」	12回(月刊)	特集：熊本地震特集【4月号】／地盤工学における人物史【5月号】／地盤構造物のメンテナンスとリニューアル【6月号】／地震・火山の土砂災害【7月号】／地盤のモニタリング技術【8月号】／人工地盤材料【9月号】／逆解析／データ同化とその利用【10月号】／有害物質の調査と対策【11月号】／第52回地盤工学研究発表会【12月号】（※11月・12月合冊）／i-Construction【1月号】／トンネル/地下構造物【2月号】／農業土木における地盤工学【3月号】

(2) 公益出版（論文集・刊行物）

1) 「Soils and Foundations」ならびに「地盤工学ジャーナル」

担当部	誌名	年発行回数	編集方針
【公益出版部】	「Soils and Foundations」	6回(隔月刊)	特集号の発刊、質の高い論文に加えて災害調査報告・先進的な国内技術報文の掲載
	「地盤工学ジャーナル」	4回(季刊)	実務と現場に直結した情報を速報性を確保して掲載(電子配信・邦文主体)

2) 学術図書等（新刊）

担当部	出版期日	書名
【公益出版部】	29.5	地盤工学・実務シリーズ33 河川堤防の調査・検討から維持管理まで（仮称）
	29.6	平成28年度版土と基礎の設計計算演習（仮称）
【調査・研究部】	29.6	第52回地盤工学研究発表会発表講演集
	29.9	第12回環境地盤工学シンポジウム論文集
【基準部】	29.7（予定）	JAPANESE GEOTECHNICAL SOCIETY STANDARDS Geotechnical and Geoenvironmental Investigation Methods (Vol.3)
	29.7（予定）	JAPANESE GEOTECHNICAL SOCIETY STANDARDS Laboratory Testing Standards of Geomaterials (Vol.3)
計 6 点		

2. 調査研究・基準事業【公2】

(1) 研究発表会、シンポジウム、講演会等

担当部	開催期日	名称	開催場所
【調査・研究部】	29.7.12-15	第52回地盤工学研究発表会	名古屋
	29.9.25-26	第12回環境地盤工学シンポジウム	長崎
計 2 回			

(2) 見学会等（会員および一般市民向け活動）

(3) 各種研究委員会、災害調査委員会

1) 研究・調査委員会等

担当部	委員会名	備考
【調査・研究部】	[研究委員会]	
	エネルギーに基づく液化化予測手法に関する研究委員会	
	社会実装に向けた新しい地盤環境管理と基準に関する研究委員会	
	3Dプリンターによる岩盤の復元に関する研究委員会	
	次世代地盤改良技術に関する研究委員会	
計 4 件		

(4) 試験法・調査法の基準制定, ISOへの対応

担当部	基準名等	備考
【基準部】	[新規制定地盤工学会基準] 室内試験において「ジオシンセティック用語」の改正規格素案作成 地盤調査において「水圧破砕法による初期地圧測定方法」, 「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」の新規基準案作成および「動的コーン貫入試験方法」のJIS規格原案作成 表記法において「地盤工学用語」のJIS規格原案作成	
	[ISO] ISO/TC182 (Geotechnics, 地盤工学), TC190 (Soil quality, 地盤環境), TC221 (Geosynthetics, ジオシンセティックス) における制定と見直し (改正、廃止、確認等) に関する投票および提案 ISO/TC190において日本主導で整備した「地盤環境向けスクリーニング方法一般に関するガイドライン」に関する新規ISO規格案	
計 5 件		

(5) 受託研究・技術指導

担当部	委員会名	備考
【調査・研究部】	[受託研究委員会] 横浜環状北線地盤変動監視委員会 福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的の新技術と人材育成に関する検討委員会	
	【基準部】 TC190国内専門委員会 TC190/SC3/WG10運営WG	
計 3 件		

3. 技術推進事業【公3】

(1) 継続教育 (講習会, system構築・記録管理・証明)

1) 講習会の開催

担当部	開催期日	名称	開催場所
【会員・支部部】	29. 4. 26-27	土質および基礎に関する技術-技術士受験のポイント-講習会	東京
	29. 5. 8-9	はじめて学ぶFEM講習会	〃
	29. 5. 26	宅地地盤の品質評価に関する技術講習会	〃
	29. 6. 27	宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会①	〃
	8月, 9月	地盤工学基礎シリーズ (圧密、せん断、透水、土圧、支持力)	〃
	8月	実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会 (構造物基礎編)	〃
	8月	実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会 (軟弱地盤・液状化・山留め・斜面安定解析編)	〃
	8月	わかって使うFEM講習会	〃
	9月	斜面の安定変形解析講習会	〃
	10月	近接施工講習会	〃
	10月	地盤・耐震工学入門講習会	〃
	10月	山留め・土留めの設計講習会	〃
	10月	宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会②	〃
	11月	土の締固め講習会	〃
	11月	液状化解析実務講座	〃
	12月	地盤調査法の基本講習会	〃
	12月	地盤工学者のための舗装-基礎から応用まで-講習会	〃
	12月	地山補強土工法講習会	〃
	1月	地盤の動的解析-基礎理論から応用まで-講習会	〃
	1月	不飽和土の挙動と評価講習会	〃
	1月	薬液注入工法設計施工講習会	〃
	2月	土砂災害に関する技術講習会	〃
	2月	防災・環境・維持管理と地形・地質講習会	〃
	3月	杭基礎に関する講習会	〃
	3月	宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会③	〃
	未定	補強土壁の長期性能と維持管理講習会	〃
	未定	河川堤防の調査・検討・維持管理講習会	〃
	未定	地盤に関する解析技術 (個別要素法) 講習会	〃
計 28 回			

2) 継続教育システム構築、記録管理、証明

(2) 国際交流、国際的学術・技術交流

1) 国際会議・シンポジウム

担当部	開催期日	活 動 項 目	開催場所
【国際部】	29. 9. 17-22	第19回国際地盤工学会議	ソウル
	29. 9. 16-17	第6回世界若手地盤工学会議	ソウル
計 2 件			

2) IS等の企画・開催

担当部	開催期日	名 称	開催場所
【国際部】	29. 12. 13	第3回日印地盤工学ワークショップ	グワーハー ティール (インド)
計 1 件			

3) 国際関係委員会等

担当部	委 員 会 名	備 考
【国際部】	[TC101] Laboratory Testing (Laboratory Stress Strain Strength Testing of Geomaterials) 国内委員会	
	[TC105] Geo-Mechanics (Geo-Mechanics from Micro to Macro) 国内委員会	
	[TC202] Transportation (Transportation Geotechnics) 国内委員会	
	[TC303] Hurricanes and Floods (Coastal and River Disaster Mitigation and Rehabilitation) 国内委員会	
	[ATC1] Geotechnical Mitigation and Adaptation to Climate Change-induced Geo-disasters in Asia-Pacific Regions 国内委員会	
	[ATC3] Geotechnology for Natural Hazards 国内委員会	
	[ATC10] Urban Geo-informatics 国内委員会	
	[ATC19] Geo-engineering for Conservation of Heritage Monuments and Historical Sites 国内委員会	
	[TC216] Frost Geotechnics 国内委員会	
[TC217] Land Reclamation 国内委員会		
計 10 件		

4. 表彰関連事業【公4】

(1) 表彰

- 1) 学会賞の募集、審査、表彰
- 2) 名誉会員の推挙
- 3) 貢献賞の授与
- 4) 出版賞募集、審査、表彰
- 5) 特別会員表彰、事業企画賞、学会誌優秀賞、国際会議若手優秀論文賞、地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞等の授与、永年にわたる正会員への感謝状贈呈
- 6) 支部表彰ほか

5. 運営関係委員会等

担当部	委員会等	備考
【総務部】	第59回通常総会 理事会 正副会長会議 選挙管理委員会 表彰委員会 災害連絡会議 総務部会 広報委員会	
【事業企画戦略室】	事業企画戦略室会議	
【会員・支部部】	会員・支部部会 本部支部連絡協議会 技術普及委員会 継続教育システム委員会 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会	
【国際部】	国際部会 国際委員会 国際交流委員会	
【公益出版部】	公益出版部会 「地盤工学会誌」編集委員会 「Soils and Foundations」編集委員会 「地盤工学ジャーナル」編集委員会 支持力入門（改訂版）編集委員会（仮称） FEMシリーズ①～③（三分冊）（改訂版）編集委員会（仮称）	
【調査・研究部】	調査・研究部会 研究・連携・情報委員会 研究発表会委員会 地盤環境企画委員会 岩盤工学企画委員会 ジオシンセティックス企画委員会 第52回地盤工学研究発表会実行委員会 第53回地盤工学研究発表会実行委員会	
【基準部】	基準部会 ISO国内委員会 地盤工学表記法委員会 室内試験規格・基準委員会 地盤調査規格・基準委員会 地盤設計・施工基準委員会 技能試験実施委員会 地盤調査および室内試験基準の英訳化に関する実行委員会	
計 39 件		

6. 支部活動（支部事業計画）

(事業区分)		【北海道支部】	【東北支部】
〔共通〕	1. 総会、役員会等 ①総会 ②評議員会 ③幹事会等	4/20 2回 10回	4/25 2回(4/25、2月) 幹事会 2回 常任幹事会 3回
〔共通2〕 運研究	2. 委員会の活動	①支部賞選考委員会 (適宜) ②北海道の地盤災害と防災技術に関する研究委員会 (適宜) ③地盤災害緊急対応委員会 (適宜) ④会員拡大検討委員会 (適宜)	①地盤研究委員会 (適宜) ②地盤データベース利活用小委員会 (適宜) ③地盤リスク検討小委員会 (適宜) ④地震時における地盤の大変形・崩壊挙動の解析技術に関する研究委員会 (適宜) ⑤資源循環研究委員会 (適宜) ⑥鉄鋼スラグ有効利活用小委員会 (2月) ⑦石炭灰有効利活用小委員会 (適宜) ⑧渉外委員会 (適宜) ⑨表彰委員会 (2月) ⑩広報委員会 (適宜) ⑪支部活動活性化委員会 (適宜) ※ とうほく地盤情報システム運営協議会 (協力)
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①技術報告会 札幌市(時期未定) ②気候変動に伴う積雪寒冷地の地盤災害に関するシンポジウム 札幌市(6月) ③平成28年8月北海道豪雨による地盤・地すべり災害調査団最終報告会 札幌市(時期未定)	①地盤工学セミナー 八戸市(6月) ②地盤工学講座 ③地盤工学フォーラム (1月)
〔公3〕 講習演習会	4. 講演会、講習会等	①講演会 土木学会北海道支部と共 (時期未定) ②映画会 土木学会北海道支部と共 (時期未定) ③講習会 (時期未定) ④セミナー 札幌市他6回程度随時開催	①見学会 (時期未定) ②講習会 (時期未定) ③講演会 (時期未定) ④秋田地域会 (4回程度)
〔公3〕	5. 国際活動	—	—
〔公1〕	6. 新刊発行予定		
〔公4〕	7. 表彰	①支部賞及び支部賞(学生部門)	①支部賞 (審査のうえ表彰)
〔共通〕	8. その他	広報活動 ・北海道支部ホームページの管理・更新作業 ・SNS (Facebook) を使った広報, 行事参加報告 ・技術報告集の広報用謹呈作業 ・技術報告集バックナンバーのweb公開準備	①広報活動 ・支部HPの更新 (随時) ・G-CPD普及活動 (随時)

(事業区分)		【関東支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②評議員会 ③幹事会	支部総会(4月) 2回(10月、2月) 各グループ毎に適宜実施
〔共通2〕 運研究 関・調 等査	2. 委員会の活動	①運営委員会 ②表彰委員会 ③極大地震時における表層地盤の強い非線形現象とその影響に関する研究委員会 ④地盤情報を活用した首都直下型地震への対策検討委員会 ⑤歴史遺産の地盤工学に関する研究委員会 ⑥1～2の新規委員会	適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①GeoKanto2017(支部発表会) ②支部交流会	宇都宮(11/17) 東京他(適宜)
〔公3〕 講 習 演 会	4. 講演会、講習会等	4.1 講演会 ①講演会 ②特別講演会 4.2 講習会 ①講習会 ②勉強会 4.3 見学会 ①工事現場・研究所等見学会 ②ジオ散歩 4.4 コンテスト ①ソイルストラクチャーコンテスト 4.5 その他 ①東京地区、支部間連携における行事企画(講演会、講習会など) ②事業実施機関等の特別会員に対する技術交流(意見交換を含む) ③学校および特別会員向け出張講座	東京他(適宜) 東京(適宜) 東京他(適宜) 東京他(適宜) 東京他(適宜) 東京(適宜) 10月 場所:未定、時期:未定 東京(適宜) 随時
〔公3〕	5. 国際活動	①国際講演会	東京(適宜)
〔公1〕	6. 新刊発行予定	①法律家・消費者のための住宅Q&A	4月
〔公4〕	7. 表彰	①関東支部賞(技術賞、功績賞)の表彰 ②支部発表会優秀発表者賞の表彰	4月 11月
〔共通〕	8. その他	①Newsletter発行 ②関東支部ホームページ更新、メーリングリストによる行事案内等の発信 ③若手会員や特別会員拡充に関する検討 若手技術者交流会 ④国土交通省関東地方整備局と締結した「災害調査協定」の運用・整備	2回(10月、3月) 随時 時期未定

(事業区分)		【北陸支部】	【中部支部】
〔共通〕	1. 総会、役員会等 ①総会 ②評議員会 ③幹事会等	4/20 (金沢市) 2回 (2月17日、11月) 6回 (石川・富山・新潟地区、各年2回開催)	4/14 3回 (4/14、9月、2月) 5回 (4/14、7月、9月、12月、1月)
〔共通〕 〔公2〕 運 研 営 究 関 関 係 係 調 調 査 査	2. 委員会の活動	①北陸支部表彰委員会 ②北陸電子地盤図作成委員会 ③雪割草の会 (女性部会) ④災害協定関連委員会 (新設)	①企画委員会 ②運営委員会 ③地盤工学に関するセミナー (セミナー部会) ④南海トラフ巨大地震中部地域地盤災害研究委員会 (南海トラフ部会) ⑤調査・設計・施工技術報告会 (技術報告部会) ⑥中部地盤工学シンポジウム (シンポジウム部会) ⑦見学会 (見学部会) ⑧信州地盤環境委員会 (信州地盤部会) ⑨若手技術者の会 (若手技術者部会) ⑩中部支部災害緊急調査団 ⑪中部支部表彰委員会 ⑫シニア活性化委員会 (シニア部会)
〔公2〕	3. 研究発表会、シンポジウム、報告会等	①第76回土質工学最新情報コロキウム 金沢地区 (10月) ②第23地盤工学に関わる実務者報告会 新潟地区 (1月) ③第77回土質工学最新情報コロキウム 富山地区 (2月) ④石川地区実務者報告会 金沢地区 (1月)	①第26回調査・設計・施工技術報告会 (技術報告部会) (6/30) ②第29回中部地盤工学シンポジウム (シンポジウム部会) (8/2) ③支部創立60周年記念事業
〔公3〕 〔公2〕 講 講 習 習 演 演 会 会	4. 講演会、講習会等	①講演会 (3回程度) ②第26回ジオテクセミナー (随時開催) ③第14回ジオテクフォーラム (時期未定) ④見学会 (3回程度) ⑤第14回地盤調査法講習会 (時期未定) ⑥とことんジオテク集中講義 (2回程度) ⑦災害協定に基づく県市町村職員研修会 (2回程度)	①講演会・映画会 (4/14) ②出前講義 (セミナー部会) (随時開催) ③地盤力学・工学講習会 (セミナー部会) (6回開催) ④講演会 (若手技術者部会) (時期未定) ⑤若手技術者交流会 (若手技術者部会) (時期未定) ⑥市民見学会 (見学部会) (時期未定) ⑦ジオテクセミナー (信州地盤部会) (時期未定) ⑧信州地盤環境委員会見学会 (信州地盤部会) (時期未定) ⑨信州地盤環境委員会講演会 (信州地盤部会) (時期未定) ⑩地盤調査ボーリング作業～室内土質試験見学会 (セミナー部会) (5月) ⑪集中講義 (セミナー部会) (時期未定) ⑫技術伝承懇話会 (シニア部会) (時期未定) ⑬市民のための防災・減災シンポジウム (愛知・長野・静岡) (南海トラフ部会) (時期未定)
〔公3〕	5. 国際活動		—
〔公1〕	6. 新刊発行予定		①最新名古屋地盤図 (追補版)
〔公4〕	7. 表彰	①北陸支部賞 (技術賞、技術開発賞、論文賞、功績賞)	①中部支部賞 (論文賞、技術賞、功績賞)
〔共通〕	8. その他		

(事業区分)		【関西支部】	
〔共通〕	1. 総会、 役員会等	①総会 ②評議員会 ③幹事会 ④支部活性化ワーキング ⑤顧問会 ⑥合同委員会（各委員会委員長との意見交換） ⑦代議員懇談会（支部代表の代議員との意見交換） ⑧60周年記念事業実行委員会	(4/17) 年間3回 年間6回 年間10回 年間1回 年間2回 年間1回 年間6回
〔共通〕 〔公2〕 運営 研究 関係 調査	2. 委員会の活動	①地盤工学広報企画委員会 ②福井地域地盤研究会 ③和歌山地域地盤研究会 ④滋賀地域地盤研究会 ⑤斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価研究委員会 ⑥関西の地盤情報に基づく防災ハザードマップ開発研究委員会 ⑦表彰委員会	年間6回 年間3回 年間3回 年間4回 適宜 適宜 委員会2回、選考会1回
〔公2〕	3. シンポジウム、 報告会等	①Kansai Geo-Symposium 2017 ②平成29年度施工技術報告会	(11/2) 4学協会共催（2月）
〔公2〕 〔公3〕 講習 講演 会	4. 講演会、 講習会等	4.1 講演会 ①総会時特別講演会 ②特別会員・個人会員(シニア)向け講演会 ③市民特別講演会 4.2 見学会 ①現場見学会 ③ふるさと地盤診断ウォーク ④工業高校・高専対象見学会 4.3 講習会 ①「宅地地盤の品質評価に関する技術講習会」 ②「地震・耐震工学に関する技術講習会」 4.4 実技セミナー ①第59回実技セミナー「常時微動計測—大阪市内の地盤の揺れを測る」 4.5 その他 ①出前授業	支部総会時（4/17） (11月) 地盤工学広報企画委員会主催 1回（1月or2月） (9月or10月) 地盤工学広報企画委員会主催(10・11月) 地盤工学広報企画委員会主催(随時開催) (7月) (10月) (5月) 地盤工学広報企画委員会主催(随時開催)
〔公2〕	5. 若手セミナー	①「若手セミナー～地盤工学の基礎講座～」	2回（6・9月）
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①関西支部賞	支部総会時
〔共通〕	8. その他	①関西支部ホームページ更新、メーリングリストによる行事案内等の発信 ②会員へのサービスの充実	随時

(事業区分)		【九州支部】	
〔共通〕	1. 総会、役員会等	①総会 ②評議員会 ③委員会等 ④顧問会	福岡市(4/中旬) 3月 20回程度 3月
〔共通〕 〔公2〕 運研究 営関・調 係査	2. 委員会の活動	①総務企画委員会 ②事業推進委員会 ③広報委員会 ④国際委員会 ⑤研究委員会 ⑥表彰委員会 ⑦九州地盤情報システム協議会 ⑧会員増加推進委員会 ⑨将来ビジョン検討委員会	学生表彰:福岡市(12・2月) 九州地盤情報データベース作成事業
〔公2〕	3. 研究発表会、 シンポジウム、 報告会等	①沖縄地盤工学研究発表会	沖縄(11月中旬)
〔公2〕 〔公3〕 講演 習会	4. 講演会、 講習会等	①「技術士養成塾」 筆記試験添削講座(通信講座全5回) 筆記試験ガイダンス 模擬面接講座 ②講習会 ・本部開催講習会をオンデマンドで視聴しよう ・災害の原因から対策工までを学ぼう講習会 ・大学生のための地盤工学セミナー ③特別講演会 ④各地区勉強会・講習会等多数 ・定例セミナー「ジオテクセミナー」/現場見学会 ・定例勉強会「ジオラボ」/現場見学会 ・定例「土の勉強会」 ・地盤工学に関する講習会 ・地盤の勉強会 ・技術講演会 ・セミナー ⑤見学会	福岡市(4月15日) 福岡市(11月頃) 福岡市(2回) 福岡市(6月頃) 福岡市(11月頃) 福岡市 九州各地区 北九州(6回程度) 長崎(2月を除く偶数月) 鹿児島(2ヶ月に1回奇数月) 佐賀(2回) 熊本 大分(10月) 宮崎 北九州(9-10月)長崎(10月) 宮崎・鹿児島
〔公3〕	5. 国際活動	ジオテクミーティング	
〔公1〕	6. 新刊発行予定	—	
〔公4〕	7. 表彰	①平成29年度九州支部技術賞(団体の部・個人の部)の募集を行い、審査のうえ表彰する ②平成29年度九州支部貢献賞の募集を行い審査のうえ表彰する ③平成29年度九州支部優良学生賞を審査のうえ表彰する	
〔共通〕	8. その他		